

KATSURAO AIR

2022年5月より滞在し活動を行っていた前期アーティストの赤坂有芽、石川洋樹による展覧会「Travel in the Hotel」は、村内外から多くの方に訪れて頂きました。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。会期9月23日〜10月10日をもちまして無事終了いたしました。後期は計4名のアーティストが滞在し活動を行なっています。後期アーティストの活動報告会は下記日程にて、今回はオープンスタジオ(※)にて実施します。ぜひお越しください。(※)作品の制作過程をアーティストの制作スタジオで観覧できます



ビデオインスタレーション土着 [vernacular] のための習作 / 赤坂有芽



ビデオインスタレーション土着 [vernacular] のための習作 / 赤坂有芽



無題 (ビデオ作品のためのドローイング) * Untitled (Drawing for video work) / 石川洋樹



遠い目を見て遠くを見る Looking "the eyes" far away / 石川洋樹

【Katsurao AIR 2022 後期 概要】

アーティスト：太田祐司、尾角典子、山田悠、山口諒

活動期間：10月1日〜2月28日

スタジオ：葛尾村立葛尾中学校3階

オープンスタジオ：1月27日(金) 1月28日(土) 29日(日) 10:00-16:00

アーティストトーク：1月28日(土) 29日(日) 14:00-15:00 両日2名ずつ



かつらお企画室

毎月、葛尾村の素材を使いながらアーティストたちのユニークなワークショップが続いています！今年7月から始まったかつらお企画室のワークショップですが、色々な方にサポート、ご参加いただきながら進んでいます。8月は講師岡崎みゆきさん(織物作家)と一緒に金泉ニットさんの残糸などを使って、腰ばたおりと不思議な形の飾りをしました。様々な糸から自分の好きな糸を選んで、作品に組み込む楽しさと、もくもくと手を動かす心地良さを味わうワークショップになりました。9月は井上康子さん(染色家)が、村の中を散策して見つけたどこにもある草(猪小槌・赤麻・大待宵草)を採取し、煮出して染色を行いました。身近な植物からこんなに多彩な色が取れるという驚きと新たな発見がたくさんあるワークショップでした。10月は竹村望さんによる「葛尾村で『やり場のないもの』たちについて考える」は今までのワークショップとは違いものを作るワークショップではなく、対話をしながら頭の中をマッサージするようなワークショップでした。楽しく話しをしながら、自分の中の「やり場のないもの」ってなんだろうと、日常ではなかなか考えることのない問いに、参加者のみんなで楽しく会話をしながら考えるきっかけをもらえたワークショップになりました。かつらお企画室では、引き続き、村の素材や文化を生かしたワークショップを企画しています。また、ワークショップ開催以外時もオープンする準備をしています。たくさんの方に気軽にゆったり過ごしていただける場所を作っていきたいと思っております。ぜひ気軽に立ち寄りください。

話をしながら考えるきっかけをもらえたワークショップになりました。かつらお企画室では、引き続き、村の素材や文化を生かしたワークショップを企画しています。また、ワークショップ開催以外時もオープンする準備をしています。たくさんの方に気軽にゆったり過ごしていただける場所を作っていきたいと思っております。ぜひ気軽に立ち寄りください。



今月の一冊

「自分だけの答え」が見つかる
13歳からのアート思考

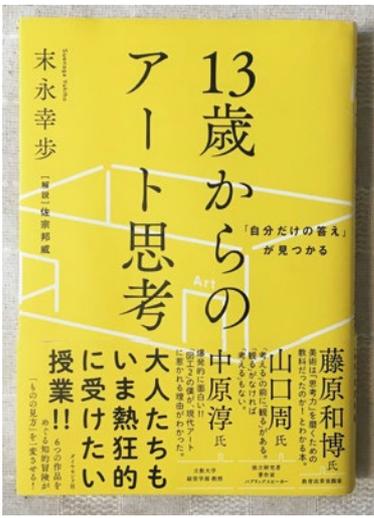
末永幸歩

20世紀初頭、カメラの普及によりアートに対する価値観が一変します。「目に見えるように世界を描く」というルネサンス以降のゴールが崩れてしまったからです。アートは写実的であるべき、美しくあるべき、一点ものであるべき…。近代以降のアートはそんな固定概念を覆し、新しい表現を模索し続けるアーティストたちの格闘の歴史でした。この本では、20世紀アートを代表する6作品の紹介を通じ、アーティストの発想に触れることで、

「自分だけのもの見方」で世界を見つめ、
「自分だけの答え」を生み出し、
それによって「新たな問い」を生み出す

という、いわゆる「アート思考」のプロセスをわかりやすく解説しています。

激しく変化し続ける時代に生きる私たちは、仕事や人生においても「答えのない問題」にいかにか立ち向かい「自分だけの答え」を導き出すのか。年代を問わず、大人の方にもぜひ手に取っていただきたい一冊です。



葛尾村暮らしから

葛尾村での暮らしの様子をお届けします



本格的に朝晩冷えるようになりましたね。はたけでは今年も野菜がたくさん収穫でき、特にじゃがいもが大量に採れました。じゃがいもは盆踊りでフライドポテト、かつらお感謝祭でじゃがバターとして販売し、どちらも大好評でした！わざわざ「おいしかったです！」と感想を伝える店に戻ってこられた方もおり嬉しかったです。なかにはSNSのアカウントにメッセージをくれた方も！葛尾村で育てた野菜はおいしいですね。お越しいただいた皆様、ありがとうございます！

ス タ ッ フ 紹 介

森健太郎 (ディレクター・チームリーダー)

福岡県出身。東京藝術大学院卒業。東御市梅野記念絵画館学芸員、独立行政法人国際交流基金 (The Japan Foundation) 勤務後、2022年5月



より現職。アーティストとして社会で合意・形成される『アート』の成立の仕方についてリサーチを行う傍ら、日本各地でアートフェスティバルのオーガナイザー、キュレーターとして活動を行う。車やバイクが大好き。たまにモンキーバイクで村内を爆走しています。見かけたらぜひお声かけください！

編集後記

葛尾村に移住して半年が過ぎ、あつという間に冬が訪れました。この村の暮らしは人と自然とが一体となっっている印象が強く、四季に合わせた生活を送り、仕事も「生きるために暮らす」という根底の部分を感じられる魅力的な村だと思えます。この村の人々が持つ知恵や技術・魅力は残していくべきだと思えますので、今後も各種媒体を通して発信していきます。これからもよろしくお願ひします！

Katsurao Collective 各種 SNS アカウント

Facebook



instagram



公式サイト

